

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
十日町市発達支援センター		令和8年 3月 16日			
チェック項目		はい	いいえ	無回答	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室（指導訓練室）等のスペースとの関係で適切であるか。	9		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、こどもの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		保護者の意見を取り入れ、今年は個別のクリスマス会を実施することができた。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9	教室の取り組みについて、外部講師による研修、検証を定期的に行い業務改善を図っています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や事業所内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	長岡療育園に行き、指導を見学することができた。(はい)
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたアセスメントや、日々の行動観察なども含むアセスメント等により確認しているか。	9		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		反省会を行い、活動内容を考え、実践している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		スーパーバイズに参加し、講師の方から助言を頂き、指導に活かすことができています。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9		指導後は必ず保護者と情報共有する時間を設けている。長岡療育園の支援を受け、職員研修や指導を受けている。
	29	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		
	30	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		
保護者への説明等	31	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		
	32	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		
	33	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		
	34	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		
	35	保護者同士が話しやすい場や交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		おしゃべり会を実施している。
	36	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整えるとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		
	37	定期的におよよりやホームページ等で、こどもの様子や行事予定、連絡体制、業務に関する自己評価の結果等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		
	38	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		
	39	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		
	40	事業所の活動内容や行事を市民に広く周知し、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		市民向け講演会の開催や、子育て支援センター乳幼児健診など直接支援しながら周知している。
非常時等の対応	41	安全マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		
	42	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		
	43	事前に、こどもの健康状態（受信状況やアレルギー、てんかん・服薬有無等）を把握しているか。	9		
	44	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		
	45	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		
	46	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		
	47	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		
	48	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		